

当院における自己免疫性胃炎患者の臨床データの後ろ向き検討に関する研究

1. 研究の対象

2009年4月～2021年12月までの間に上部消化管内視鏡検査もしくは組織学的検査で自己免疫性胃炎が疑われた方が対象です。

2. 研究目的・方法

目的：自己免疫性胃炎の患者は症例数が少ないため、自己免疫性胃炎でない症例と比較して、自己免疫性胃炎の発見の契機や組織学的な検討、内視鏡所見の検討を行うことで、病態の早期発見や実臨床への応用を検討することを目的としております。

研究実施期間は倫理委員会承認日～2023年12月31日までになります。

方法：2009年4月～2021年12月までの間で当院にて上部消化管内視鏡検査を施行して、逆萎縮の所見を認めた方を拾い上げます。そして、更に①血液検査で抗胃壁細胞抗体もしくは抗内因子抗体という抗体が陽性、②胃粘膜の組織生検でECL細胞（enterochromaffin-like cell）過形成もしくはECM（endocrine cell micronest）という所見、のどちらかを認めた方を自己免疫性胃炎と診断した。該当した症例の臨床的特徴、内視鏡所見、組織学的所見を後ろ向きに検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、生年月日、病理検体番号、血液検査データ、内視鏡画像・レポート

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報がもちいられることについて患者さんにご了承いただけない場合、研究対象としません。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

電話：088-880-2338

研究責任者：高知大学医学部消化器内科学

氏名：石川 洋一